



Webversion



IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年12月11日、ブリュッセル発

COP 25 : IDF は FAO LEAP に参加して、気候変動と食料安全保障への取り組みにおける畜産の役割を考察します

COP 25: IDF joins FAO LEAP to look at the role of livestock in addressing climate change and food security



酪農乳業セクターの環境への影響を最小限に抑えるための継続的な取り組みの一環として、国際酪農連盟（IDF）は12月12日（木）にFAO畜産環境評価およびパフォーマンス（LEAP）パートナーシップのCOP 25公式サイドイベントに参加して、気候変動と食料安全保障への取り組みにおける低炭素の畜産の役割を討論します。

畜産サプライチェーンの環境パフォーマンスの向上

IDF 事務総長兼 2019 年 LEAP 議長であるキャロライン・エモンドは、国連気候変動会議 COP 25 で、気候変動の課題に対処するために畜産セクターが行う具体的な行動を促進することを目的としたイベントにおいて FAO と合流します。

FAO LEAP サイドイベント「畜産環境評価とパフォーマンス (LEAP) パートナーシップの各国が決定する貢献 (NDCs) に対するアプローチ」は、政府や他の団体と意見を交換し、FAO LEAP ガイドラインが食料安全保障と低炭素の畜産に対するエビデンスに基づいた行動のために国内の温室効果ガス排出目録をどのように強化できるかなど、低炭素の畜産を実現するためのさまざまな方法に関する情報と知識を共有します。このイベントが、FAO LEAP ガイドラインの採用を通じて持続可能な畜産生産への移行を加速させ、政策立案者および実務家を支援することが期待されています。

IDF 事務総長のキャロライン・エモンドは、「畜産セクターの環境パフォーマンスの評価と監視に関して LEAP を通じてすでに大きな進歩を遂げていますが、継続的な改善が我々の目標です。」と述べました。「このイベントは、食料安全保障を確保しながら、本セクターからの排出量を最小限に抑えるために取るべきさまざまな方法に関するさらなる情報を提供し、知識を共有します。」

酪農乳業セクターの排出量削減

酪農乳業セクターは、環境への影響を削減し、生産されるタンパク質 1 kg 当たりの炭素排出量をさらに削減し、乳を生産および処理する革新的で持続可能な方法を見出すための研究開発への投資に取り組んでいます。2013 年に、世界の酪農乳業セクターは、[デリー・サステナビリティ・フレームワーク](#) を立ち上げ、積極的な取り組みを通じて行われた適応・緩和の進捗を継続的に改善・実証できるようにしました。2015 年に、酪農乳業セクターはフットプリントを測定するための[ライフサイクル評価手法](#)を開発した最初のセクターとなりました。2016 年に、国際酪農連盟と FAO は[デリーロッテルダム宣言](#)に署名し、酪農乳業の各国経済への大きな貢献、バランスの取れた食事における乳製品製品の重要な役割、および[環境劣化と気候変動への対応において本セクターが果たす重要な役割](#)を認識しました。

注記：

畜産環境評価とパフォーマンス（LEAP）パートナーシップの自国が決定する貢献（NDCS）のためのアプローチは、IFEMA - Feria de Madrid、ルーム 5 で 2019 年 12 月 12 日に開催されます。このイベントは[ウェブキャスト](#)を通じてライブ放送されます。

LEAP パートナーシップについて

[LEAP](#) パートナーシップは、FAO が主催するマルチステークホルダー・イニシアチブであり、畜産サプライチェーンの環境パフォーマンスを改善すると同時に、経済的および社会的実行可能性を確保することに取り組んでいます。LEAP は、例えば温室効果ガス、土壌炭素蓄積と蓄積の変化、水不足フットプリント、栄養サイクルと関連する影響および生物多様性など、飼料および家畜のサプライチェーンの環境パフォーマンスを評価するための方法論に関するコンセンサスを構築します。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。